

地域社会と連携した情報ボランティア活動

愛媛県立新居浜工業高等学校 宇佐美 東男
usami@ehime-net.ed.jp

1. はじめに

初等・中等教育のすべてにインターネットが導入されようとしている。国による予算化が進められているが、地方においては、導入される施設・設備を有効に活用できる人材や、そのノウハウがほとんど蓄積されていない。これは地域や組織あるいは個人における「情報格差」に他ならない現象である。このため約2年間に亘り、地域社会を対象に「インターネット技術研修会」の開催と、情報インフラの整備や運用ノウハウを提供する情報ボランティア活動「えひめGFDay」を企画実施してきた。

活動の主な目的は「情報格差」の解消に少しでも役立てばとの思いから取り組んできた。また、情報ボランティア活動への生徒達の積極的な参加は、地域社会より大きな評価を得ることができた。

この活動では、これまで蓄積したインターネット利用に関する知識や経験を基に、学校教育の情報化や地域社会の情報化に協力することができ好評を得た。

また、地域の方々と研究会などを通して、地域ネットワークの在り方についても研究を進めることができ、学校教育を含んだ今後の地域ネットワークの在り方についても指針を得ることができた。

2. 地域社会と連携した教育活動

(1) 情報化推進コーディネータ養成を目指したインターネット技術研修会

市内の小中学校27校の教職員と市教育委員会職員、県立高校23校の学校事務職員を対象とした研修会を実施した。この研修会は、教育現場の情報化を進めるためのリーダ養成講座といった性格を持っている。実施方法やカリキュラムの概要は次の様である。

受講者総数約150人の教職員を5グループに分けて実施した。それぞれのグループは、3日間コース2グループ、1日間コース3グループに分かれ9日間の研修にチャレンジした。各コースのカリキュラムやねらいは基本的に同じであるが、各研修項目についての深度や演習の程度が異なる。研修時間は午前中に講義・実技が行われ、午後はリファレンスを伴った自由実習とした。

研修内容は「高度情報通信社会と教育の在り方」を総合テーマに、おおむね以下の項目を研修するカリキュラムとした。

「高度情報通信社会のとらえ方」、「教育の情報化と進め方」、「インターネットの教育利用」、「情報倫理」、「有害情報の問題と対策」、「個人情報保護の問題と対策」、「インターネットの仕組みとサービスの種類」、「基本ソフトとアプリケーションの操作方法」、「インターネットサービスの利用方法」、「教材の作り方」、「ネットワークの構築」、「パソコンの仕組みと組立」、「ソフトウェアのインストール」などかなり幅広い分野の研修が行なわれた。

(2) インターネット利用市民研修会

一般市民や生徒の保護者、また、小学生とその保護者など地域社会の方々が参加した。研修内容は、「市民生活とインターネット利用」を主テーマとして、利用技術やインターネットビジネス、学習活動での利用方法、情報モラルなどを対象者に合わせて研修を行っている。研修会は2年間で30回を越している。これまでに受講者延べ人数120名余りが参加している。各研修は、学校施設設備の利用と地域の公共施設も利用した。学校の利用は長期休業中や夜間を利用した。

(3) 「えひめGFDay」における情報ボランティア活動

高校生のボランティア活動として、情報ボランティアを実施した。

本校は専門高校として、生徒達は日常の学習活動の中でIT技術を学んでいる。日頃の学習活動の成果をボランティ

E スクエア・プロジェクト成果発表会

ア活動に役立てることができれば、社会参加の経験として将来役立つことになる。

また、情報ボランティアとして社会参加をすることで、情報モラルや情報社会に積極的に参画する態度も体験的に養うこともできる。

県内には、情報ボランティア組織として「えひめ G F Day」と呼ばれる組織がある。

この組織は、地域のインターネット研究会や情報産業など業界団体、教育関係者、個人等の協力で、地域の情報化を推進する活動を行っている。この組織の活動に参加することで、高校生の情報ボランティア活動の機会を得ることになった。また、組織の設立は、地域に対する教育活動が大きな目標ともなっており、ネットディに類似した組織と活動を行っているといえる。高校生のボランティア活動の受け皿としても、いろいろな面で条件が整っており、今後、積極的に活用したいと考えている。以下に「えひめ G F Day」の概要を紹介する。



写真 2 : 「えひめ G F Day」に参加した生徒達

写真 1 : 市民研修会

・「えひめ G F Day (Global FriendShip Day)」会則の概要

1 「えひめ G F Day」の活動目的

「えひめ G F Day」は、インターネットを通して、世界の平和を願う団体であり、そのために役立つ以下の活動を行う。

2 活動内容

(1) 情報ボランティア活動（情報格差の解消）

- a 研修会の開催
- b 情報インフラ等整備に関する援助
- c グローバル・コミュニケーションに関する援助
- d 新しい教育システムの開発と運用

(2) 研究会

- a 会員相互の研さん

(3) 親睦会

- a 会員相互の親睦
- b インターネット利用者間の親睦

3 会則（割愛）

3 . おわりに

高校生のボランティア活動は将来の社会参加にとって、「生きる力」を養うなど大変重要な体験学習となる。国の方針でもボランティア活動をカリキュラムに組み込む方向で進んでいるようである。特に、学校で学んだ専門知識・技術を役立てることができるので、生徒たちの将来への自信につながり、生きる力を育み、校内での学習活動では得られない教育効果が得られる。また、インターンシップ制度のこともあり、新しい視野で情報ボランティア活動を活発化させていきたいと思う。